

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128

ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

子どもからお年寄りまで、みんなが楽しめるものがいっぱいそろっています!!
来て! 見て! 体験して! 楽しもう!!



おぎくぼセンター

7月21日(土)10:00~16:00
7月22日(日)10:00~15:30



★スタンプラリー抽選会
(各日400名)

舞台
荻窪小学校「荻小ソーラン」/桃井第二小学校合唱・合奏/松溪中学校吹奏楽
ほか多数出演

似顔絵

★模擬店：コーヒー・ソフトドリンク・綿あめ・パン・ドーナツ・いなり寿司・冷しるこ・ヨーヨー釣り・焼きそば・かき氷など

鉄道模型運転

缶バッジ作成コーナー
オリジナル缶バッジを作ろう!!

折り紙教室
(22日)

★農水産物販売：小千谷市農産物・南伊豆水産物
★プラネタリウム
★バルーンアート
★子ども美術鑑賞教室 など

会場：荻窪地域区民センター（荻窪2-34-20）電話03-3398-9127 / 主催：荻窪地域区民センター協議会

これからのイベント・講座

6月

- 1日・8日(日)：楽しいラジオ体操
- 2日(日)：前駐スウェーデン大使講演会
- 3日(日)：「でいえんす縁日」
- 8日(日)：「講談出前授業」(於：荻掛小学校)
- 10日(日)：「フリーエーションホッスを楽しみませんか」
- 30日(日)：「海からの贈り物 シーポーンアート」

7月

- 5日・12日・19日・26日(日)：現代の女性作家の短編を読む
- 21日(日)・22日(日)：40周年記念おぎくぼセンター祭
- 28日・8月4日(日)：ロシア・サンクトペテルブルク夏の旅
- 31日(日)：広報紙「わたしのおぎくぼ」8月・9月号発行

8月

- 3日・10日・17日・24日(日)：「ハニー」を楽しむヴォイストレーニング
- 18日(日)：「近衛文麿の光と影」
- 25日(日)：「講談鑑賞会」
- 6日・13日・27日・10月4日(日)：「じゅくりと読む」松尾芭蕉「おぐぼ海道」

9月

- 25日(日)：広報紙「わたしのおぎくぼ」10月・11月号発行
- 4日・11日・18日・25日(日)：「いきいき朗読教室」
- 14日(日)：「本天沼集会所まつり」

10月

- 17日・24日(日)：「ポールウォーキングを楽しもう」

※イベント・講座等は変更になることもあります。※会場が明記されていないものは全て会場は荻窪地域区民センターです。

※問い合わせ先：●事業企画部 ●地域交流部 ●CC部 ●広報部 ●総務部

この街に
この人あり

杉並の無形民俗文化財の 広がりと継承を目指して

井草囃子という伝統芸能を通じて、地域作りとふるさと作りをめざして活動されている、高橋正典さんにお話を伺いました。



井草囃子保存会 高橋正典さん

井草囃子とはどういうものなのでしょう

江戸時代後期、井草八幡宮の祭礼行事として、井荻・今川・上井草・善福寺・仲通り・八成就の地域で継承されてきた祭り囃子で、昭和57年に



桃五小学校での練習

杉並区登録無形民俗文化財になっています。囃子の基本人数は5人で、笛（篠笛）・大太鼓2人・締め太鼓・鉦（かね）で行い、五人囃子ともいわれます。それぞれの位置は大体決まっています。大太鼓と締め太鼓は前面に座り、背後に笛と鉦は立つか座ります。また囃子に加えて獅子舞を行うこともあります。

始められたきっかけは

35年前（30歳代前半）、大先輩の吉田康夫さん（吉田テント経営者）に誘われたことがきっかけです。教わるうちに井草囃子に魅了され、現在は保存会仲通り支部の責任者・吉田さんのもとで、全てのパート演奏と共に指導者として活動しています。

活動はどんなところで

井草八幡宮の祭礼時はもちろん、白山神社ほかの神社、また区内の公共施設や商店会などの各種イベントに参加させていただいています。また日頃は、会員の研鑽、および育成活動に力を入れており以下の様な活動を行っていて、むしろこちらの方が忙しく、エネルギーを注いでいます。

●桃井第一小学校生徒週1回 約10人

- 桃井第五小学校生徒週1回 約20人
- 「吉田テント」作業場 月1回 子どもとその親

今後について

最も大事なのは後継者の育成です。各楽器には楽譜というものはありません。先生の音を耳で覚えて習うしかない、合奏となるともっと大変、阿吽の呼吸で



「吉田テント」作業場での親子練習

合わせなければなりません。練習するうちに調和した演奏ができるようになり、お客さんと共に喜び成長した姿を見たときには、本当にやりがいを感じます。また子どもたちのこの活動を通じて、世代交流による子どもへの教育効果も大いに感じるところです。

希望としては、大正時代からの太鼓の張り替えなどの楽器の修理の資金面、また後継を目指す子どもたちへの教育的支援について、もっと理解していただければと思っています。伝統文化を次世代に継承し、住んでいる私たちのふるさとへの誇りを持つみんなでありたいものです。

インタビュー後記

高橋さんの本業は手作りパン店ですが、高橋さんはこの郷土芸能の普及・継承に、息子さん夫婦とその三人のお子さん（お孫さん）、それに娘さん、まさに一家総出で取り組んでいます。本業よりもこちらの活動の方が忙しいとのこと。公演依頼やお子さんを習わせたい方、その他お問合せは、高橋正典 杉並区桃井2-2-4 KUPPELクッペル ☎090-6652-7358まで。

講座紹介

現代の女性作家の短編を読む

一昨年、昨年と好評を博している生田美秋先生の文学講座。今回は、吉本ばなな、角田光代、江國香織、宮部みゆきの短編作品を取り上げ、読書会形式でじっくりと鑑賞し、議論します。生田先生をびっくりさせるような、皆さんの新鮮な読後感をどしどしお聞かせください。

★日時：7月5日、12日、19日、26日、各木曜日
午前9時30分～11時30分

★場所：荻窪地域区民センター 第1・2会議室

（詳細はP4の「講座案内」をご覧ください。）





荻窪地域区民センター協議会設立40周年記念キャンペーン

荻窪の記憶を伝える道に愛称をつけよう

当協議会では、設立40周年の記念事業の一環として、センター前の道に愛称をつけるキャンペーンを実施します。この道は、国指定史跡の「荻外荘」のほか、4つの国登録有形文化財（「西郊ロッヂング」「旧大田黒家住宅洋館」「渡邊家住宅主屋」「幻戯山房・旧角川家住宅主屋」）が沿道に並び、都内でも稀有な道です。愛称をつけることで、荻窪の歴史を再認識し、緑の多い景観を守り、近年、訪問客が増えている大田黒公園や角川庭園への道案内に役立てたいというのがその趣旨です。広く地域の皆様から案を募り、長く親しまれる愛称をつけたいと考えておりますので、奮ってご応募ください。

道の概要

起点：荻窪4-28（天沼陸橋南の信号）

終点：南荻窪2-1（大宮前体育館角）

全長：約1.8キロ

愛称の募集期間

6月1日～11月30日

応募方法

応募用紙は、区民センターのほか、大田黒公園、角川庭園、図書館、ゆうゆう館などに用意いたします。ホームページからダウンロードすることもできます。必要事項

項をご記入の上、区民センターの投票箱に投函くださるか、ファクスでお送りください。詳しくは、ホームページをご覧ください。

FAX:03-3393-9128

<http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

結果発表

選定委員会を経て、年内に発表いたします。



30年度の定期総会が開催される

5月11日(金)、荻窪地域区民センターで同センター協議会の平成30年度の総会が開かれました。来賓の方々をはじめ町会や商店会など地域団体の代表ら約70人が出席。平成29年度の事業・決算報告と30年度の事業計画・予算案が承認され、また、新しい協議委員8名が承認・紹介されました。

中澤会長は「本年が当区民センター協議会が設立40周年を迎える特別な年であることを念頭に置き、従来から継続されている事業に加え、記念講演、記念式典、記念コンサートのほか、記念誌発刊などを実施します。」と本年の活動方針を述べました。



協議会の委員(◎:部長、○:副部長)

役職・所属	氏名	住所	役職・所属	氏名	住所	
会長	中澤 一郎	荻窪	事業企画部	◎牧 三千夫	荻窪	
副会長	齋藤 昭雄	高井戸東		○上池 敏子	本天沼	
	松井 和男	荻窪		松井 和男	荻窪	
会計監事	竹内すみ代	荻窪		萩原 伸一	荻窪	
	加藤 俊也	荻窪		梁谷 貞夫	天沼	
総務部	◎石川まり子	今川		牧絵 正明	荻窪	
	○鈴木 葉子	宮前		松崎茂一郎	宮前	
	小笠原良行	本天沼		◎武藤 由美	荻窪	
	中田あつ子	荻窪		檜枝光太郎	荻窪	
地域交流部	◎平木 協夫	南荻窪		センターカレッジ部	多田 哲雄	本天沼
	○西森多美子	天沼	南 秀郎		上荻	
	柴田 光枝	桃井	広報部		◎内藤まゆみ	南荻窪
	加藤 美子	上荻			○齋藤 昭雄	高井戸東
	宇田川 康	荻窪			石井 徹	荻窪
	丹羽 健雄	宮前			横尾 耕一	荻窪
	佐野 洋子	荻窪	事務局の職員			
	伊藤 節子	南荻窪	事務局長		天海 和彦	—
	矢島 正信	天沼	職員		榎田 薫	—

講座のご案内

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
海からの贈り物 シーボーンアートを 楽しもう	子供から大人まで、海の環境を考え、海岸漂着物(貝殻など)を使ったアート作りを楽しみます／本間 清	6月30日(土) 午後1時～3時	20名	500円	6月17日(日)
現代の女性作家の 短編を読む	現在第一線で活躍する女性作家―吉本ばなな、角田光代、江國香織、宮部みゆきの短編作品を、読書会形式でじっくりと鑑賞します。／生田美秋(富山県立高志の国文学館事業部長)	7月5日(木)、12日(木)、 19日(木)、26日(木)、(4回講座) 午前9時30分～11時30分	20名	300円	6月24日(日)
ロシア・サンクトペテルブルク 夏の旅	美しいサンクトペテルブルクの夏の魅力を豊富な映像を交えて詳しく紹介します。／杉山春子(明治大学文学部兼任講師)	7月28日(土)、8月4日(土) (2回講座) 午後2時～3時30分	50名	200円	7月8日(日)
ハーモニーを楽しむ ヴォイストレーニング	喉や舌の使い方を学び、お腹を使った正しい発声を身につけると心地よい歌声になります。皆さんで美しい合唱を楽しみましょう。／安藤操(ヴォイストレーナー)	8月3日(金)、10日(金)、 17日(金)、24日(金)、(4回講座) 午後1時30分～3時30分	50名	200円	7月15日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに〈一人一枚〉 ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④性別 ⑤年齢 ⑥電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

郷土博物館分館企画展

問い合わせ: ☎5347-9801

区民参加型展示(西棟1階)

荻窪の記憶 ～大田黒公園周辺 100年の歴史～

中央線沿線を代表する住宅地・荻窪。それは、どのようにして誕生し、発展してきたのでしょうか。荻窪地域区民センター協議会では、戦前の歴史を掘り起こし、後世に伝えるため、住民の方々の協力を得て、聞き取り調査や資料収集などを進めています。今回の展示では、史跡や文化財指定された建物が多く残る「大田黒公園周辺」にスポットを当て、甲武鉄道の開通にはじまる郊外住宅地の歴史を辿ります。また、荻窪地域の田園風景や昭和前期の暮らしを伝える約80年前のホーム・ムービーも公開します。この展示をとおして、身近なまちの歴史に親しんでいただければ幸いです。

【開催期間】

平成30年3月17日(土)～6月17日(日)

分館準常設展(西棟1階)

荻窪の古老が描いた 「記憶画」からみた杉並

荻窪周辺は、街の発展とともに、今もなお変化し続けています。明治期にこの地に生まれ育った故・矢嶋又次氏は、記憶をもとにかつての荻窪の姿を描き、後世に伝えてくれます。分館では、この「記憶画」を通して荻窪周辺や杉並区の歴史・文化を紹介する準常設展示を開催します。

今回は、区内の「弁天信仰」に注目します。地域に残る弁天社や弁天池の存在は、地域の「水」にまつわる信仰を伝える重要な文化遺産です。地域社会に根差した信仰について、矢嶋氏の「記憶画」から考えてみませんか。

【開催期間】

平成30年6月30日(土)～8月26日(日)

【共通】

- 場 所: 杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1天沼弁天池公園内)
- 開館時間: 午前9時～午後5時
- 休 館 日: 毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
- 観 覧 料: 無料
- 問 合 せ: 電話03-5347-9801

荻窪つどい公園が4月7日に
オープンしました。

●荻窪4-15-27

昭和23年から平成28年まで、東京フリーメソジスト杉並中部教会があった土地で、教会の解散に伴い、杉並区に寄贈されました。開園時間は午前8時～午後6時までで、すべり台、ブランコ、健康遊具、あずまや、だれでもトイレなどの施設があります。



*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。
FAX番号: 3398-9128

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の 日程

6月26日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室
7月31日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。